

群馬県地域リハビリテーション講師バンク制度の普及と意識調査

報告書



平成 20 年 1 月

群馬県地域リハビリテーション支援センター調査研究部会
群馬リハビリテーションネットワーク

はじめに

現在の医療・介護・保健・福祉分野は専門が細分化し、それぞれのスペシャリストによる指導が必要な時代となっています。群馬県地域リハビリテーション支援事業の一つである「講師バンク」制度は、講演・実技指導ができる人材を登録・斡旋し、群馬県地域リハビリテーション広域支援センターや群馬リハネット加盟団体の講演会や研修会活動を支援する目的でつくられました。平成17年5月に群馬県地域リハビリテーション支援センター調査研究部会が中心となって作成させていただきましたが、発足してまもなく3年を迎えようとしています。現在群馬県内の講師を中心に、のべ129項目の講師登録に達しております。

本制度は群馬県の医療・介護・保健・福祉分野のレベルアップの一助になると信じております。今回アンケート調査を行い、本制度をよりよいものにするための情報収集・解析をいたしました。本調査をもとにして現在の「講師バンク」制度の問題点を明らかにし、改善に努めたいと思います。そして、群馬県の医療・介護・保健・福祉事業にお役に立てば幸いに存じます。

最後に、本調査に当たり、アンケート調査に御協力をいただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

2008年1月

群馬県地域リハビリテーション支援センター 調査研究部

部会長 田中聡一

目次

はじめに	1 頁
目次	2 頁
要旨と今後の課題	3 頁
1. 調査目的	3 頁
2. 調査設計	3 頁
3. 抽出数・回収数・回収率	4 頁
4. 調査内容	4 頁
5. 調査結果	4 頁
5.1 利用組織の講師バンク登録数	4 頁
5.2 講師バンクの利用状況	4 頁
5.3 講師バンクの認知度	5 頁
5.4 講師バンクの満足度	5 頁
5.5 講師バンク制度を熟知できなかった理由	6 頁
5.6 「講師バンク運営要領」の認知度	6 頁
5.7 「講師バンク運営要領」の満足度	7 頁
5.8 組織の登録講師確認状況	7 頁
5.9 登録講師確認法の満足度	8 頁
5.10 登録講師内容の満足度	9 頁
5.11 講師への謝礼について	9 頁
5.12 講師利用可能な組織の範囲について	10 頁
5.13 その他、意見・希望	11 頁
アンケート用紙	12 頁
群馬県地域リハビリテーション支援センター調査研究部会名簿	16 頁

要旨と今後の課題

平成 19 年 11 月 13 日～12 月 10 日にアンケート調査を実施し、回収率 51.1%(23 回答/45 依頼) (内訳 ; 広域支援センターの回収率 83.3% (10 回答/12 依頼) 群馬リハネット加盟団体の回収率 39.4% (13 回答/33 依頼)) でした。講師バンク利用率は、広域支援センターでは、今まで利用したことのない組織が全体の 60%を占め、1 回利用 10%、2 回利用 20%、3 回利用 10%でした。一方、群馬リハネット加盟団では一件の利用もないことが判明いたしました。講師バンク認知度に関しては、講師バンクの利用方法までわかるほど認知いただいている組織は、広域支援センターでは 42%、群馬リハネット加盟団は 39%にとどまり、認知度の低さの問題が浮かび上がりました。現在登録講師は群馬県地域リハビリテーション支援センターホームページ内で調べることができますが、実際調べたことのある組織は、広域支援センターでは 40%、群馬リハネット加盟団では 10%にすぎず、そもそも各組織の「講師バンク」制度に対する興味の低さを思わせました。もし、アンケートの返答をいただけなかった組織を加えるとこの割合はより低くなってしまいかも知れません。その他、「自分で頼んだ方が簡単」であるとか、「もっといろいろな方が利用できるように、利用できる組織の範囲を広げた方がいい」という意見もいただきました。

以上より、今後「講師バンク」制度をよりよいものにするために、

「講師バンク」制度の PR より気軽に利用できるものにするための工夫 講師数の充実（分野により講師に偏りがある） 利用できる組織の範囲の検討

を中心に努力していきたいと考えています。

1. 調査目的

「講師バンク」制度では、今まで群馬県内の多くの方に講師登録をいただき、他県にない制度を発足することができたと考えていましたが、実際利用する皆様からは、「一度も利用したことがない」とか、「利用の仕方がわからない」、「私たちにも利用させて欲しい」などの厳しい意見から御要望までいただくことがございました。そこで、講師バンク制度のみなおしをするための基礎資料を得ることを目的に、実際この制度を利用する立場であり、かつ、講師登録をする立場である

広域支援センター、
群馬リハネット加盟団体

を対象に「講師バンク」制度の普及と意識調査をしました。

2. 調査設計

《調査主体》群馬リハネット
《集計分析》群馬県地域リハビリテーション支援センター調査研究部
《調査方法》悉皆調査。郵送配布-郵送回収による横断的調査
《対象》群馬県地域リハビリテーション広域支援センター 群馬リハネット加盟団体
《調査期間》平成 19 年 11 月 13 日～12 月 10 日

3. 抽出数・回収数・回収率

	抽出数(件)	回収数(件)	回収率(%)
全体	45	23	51.1
広域支援センター	12	10	83.3
リハネット加盟団体	33	13	39.4

* 理学療法士会と榛名壮病院（広域支援センター）が同一担当者による回答となるため、榛名壮病院（広域支援センター）からの回答のみ結果に加え、理学療法士会はアンケート調査対象より除外しました。

4. 調査内容

巻末にアンケート用紙を記します。

5. 調査結果

5.1 利用組織の講師バンク登録数

講師バンクに登録していない組織が多い

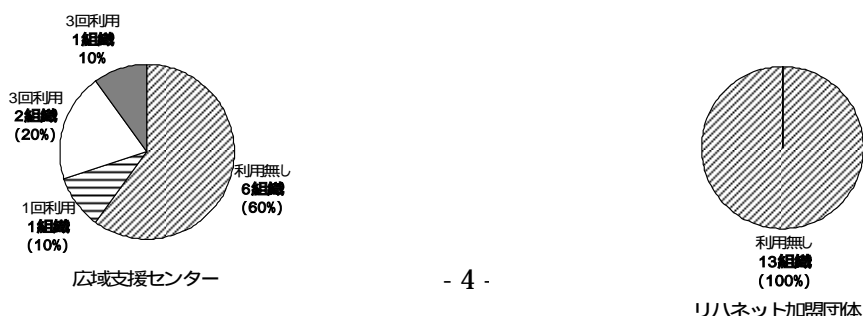
講師バンクに何人の講師を登録しているか調査しました。（リハネット加盟団体では、講師を登録していることが、講師バンク制度利用の条件となっています。）広域支援センターもリハネット加盟団体も講師を登録している組織が多くな、広域支援センターでは70%が、リハネット加盟団体では54%が一人も講師登録をしていませんでした。



5.2 講師バンクの利用状況

講師バンクを利用していない組織が多い

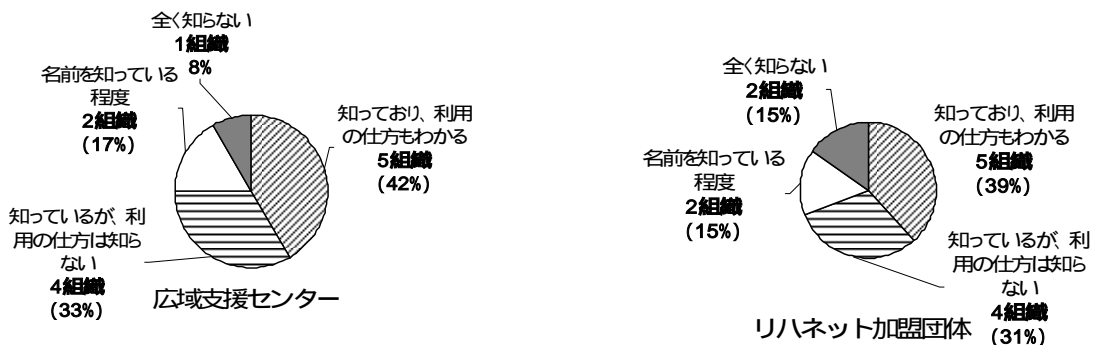
講師バンク制度の利用回数を調査しました。講師バンクを利用していない組織は多く、リハネット加盟団体にいたっては、利用歴が全くありませんでした。



5.3 講師バンクの認知度

講師バンクの認知度は低い

講師バンクの認知度を調査しました。本制度の利用の仕方まで理解している組織は広域支援センターで42%、リハネット加盟団体に39%にとどまっていることがわかりました。



5.4 講師バンクの満足度

講師バンク制度を知っていた組織は、制度の満足度が高い

講師バンク制度を熟知していた組織に、本制度の満足度と具体的な不満足点を調査しました。この対象による調査結果では満足度が高いことがわかりました。



問題点、改善点（広域心センター）

- ・ 講師バンクの存在は知っている。できれば、講師バンク一覧が頂ければ、そこから講師を選定し、講演会や研修会を企画したい。
- ・ 登録講師の充実

問題点、改善点（リハネット加盟団体）

- ・ 検討として講師の充実が必要

5.5 講師バンク制度を熟知できなかった理由

講師バンク制度の利用ができない、知らないなど、制度を熟知できなかった組織に対して(講師バンク制度を利用できるほど熟知している組織以外の全組織に対して)具体的にその理由を調査しました。

《広域支援センター》

- ・ 広報不足。今回利用方法の説明書が同封してあったため、今後は利用しやすくなった。
- ・ 講師バンクを必要とする企画を行ってこなかった。講師バンクに登録されている講師についても直接連絡して依頼しており、あえて講師バンクを通す必要性も感じていなかった。
- ・ 制度利用マニュアル等の確認不足

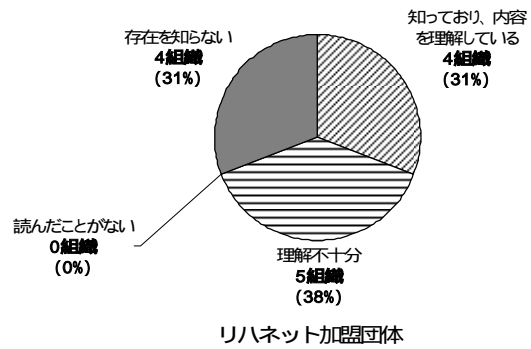
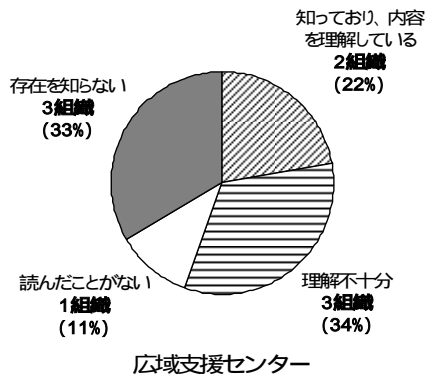
《リハネット加盟団体》

- ・ 2～3年前に当協会の訪問看護研修の継続教育で「摂食・嚥下障害リハビリについて」榛名荘病院の理学療法士を講師にお願いしました。その際に地域リハビリテーション広域支援センター宛に講師依頼の要請文を送付しました。講師バンク制度の認識をしておりませんでしたし、利用方法を知らなかったので活用できませんでした。
- ・ 登録そのものが、どんな規定でされているのかが、理解、周知されていない？
これまで組織内で会を開催する担当ではなく、提言できる場になかったため、会の中にも知っていらっしゃる方もそれほどいません。
- ・ 情報不足。情報を得るための努力不足。
- ・ 内部の引き継ぎの問題です。
- ・ 自分の勉強不足。必要があれば事務局へ問い合わせるなりリハネットのホームページで確認すればよいとの現時点での考え。
- ・ 専門性が高いイメージがあり、利用実績がないため制度についてもよく承知していないものと考えられます。
- ・ 群馬県地域リハビリテーションからのPR不足と、本会内における担当者からの周知、徹底不足と思います。
- ・ 現在のところ県肢連としての利用は考えられない。必要度は高いと考えている。

5.6 「講師バンク運営要領」の認知度

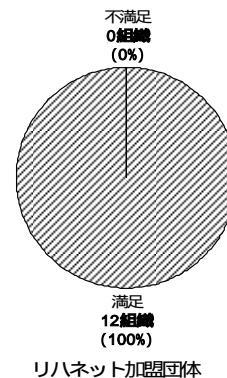
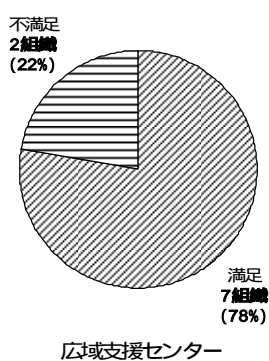
「講師バンク運営要領」の認知度は低い

講師バンク制度は、「講師バンク運営要領」に基づいて機能します。そこで、講師バンク運営要領の認知度を調査しました。内容を理解している組織は、広域支援センターでは22%、リハネット加盟団体では31%に過ぎず、読んだことがない、存在すら知らないという組織が広域支援センターでは44%、リハネット加盟団体では31%存在しました。



5.7 「講師バンク運営要領」の満足度 「講師バンク運営要領」の満足度は高い

講師バンクの運営要領の満足度と具体的な問題点について全組織を対象に調査しました。講師バンクの運営要領を持っていない組織に対しては、アンケートに同封した講師バンクの運営要領をみながら回答してもらいました。おおむね、満足との回答を得ました。



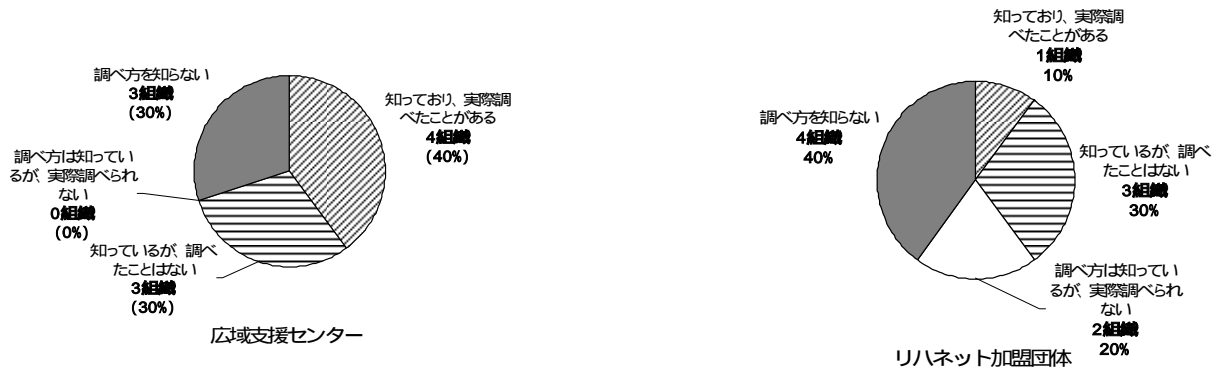
不満足な理由（広域支援センター）

- ・ 講師を紹介するわけであるから、この程度の決まりは最低必要と思うが、いろいろなことを考えると、自分で講師を探すあるいは、自前のスタッフで間に合わせた方が簡単だと思う。講師バンク利用は、それでも足りない時に活用しようと考えている。
- ・ 講師の登録期間は原則2年とされていますが、当センターからの推薦講師は2年以上経過し、職場も変わってしまった講師もいます。毎年度毎に登録の継続を確認するような手続きも必要ではないでしょうか？

5.8 組織の登録講師確認状況

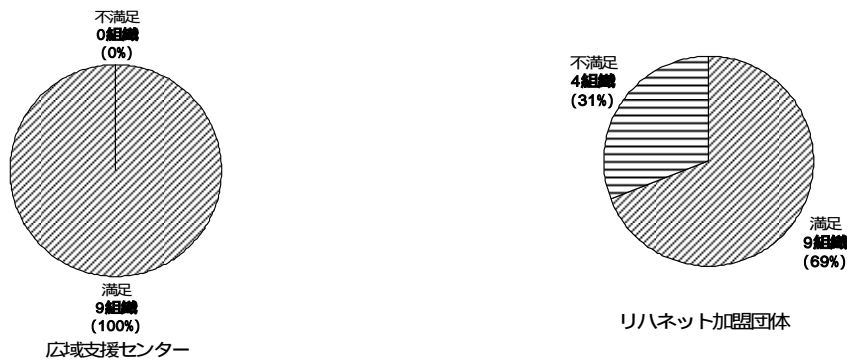
登録講師を実際に調べてみたことのある組織は少ない

登録講師を実際調べてみたことがあるのか、登録講師の情報を調べられるのかを全組織を対象に調査しました。残念ながら、広域支援センターで60%、リハネットでは90%が調べたことがないとか、調べられないと回答していました。



5.9 登録講師確認法の満足度

登録講師の調べ方はおおむね満足だが、不満足との意見もあり



広域支援センターが指摘する不満足な理由

(満足と答えながら下記を回答した組織が2つありました)

- ・ ID、パスワードが分かりません。
- ・ 個人情報の問題もありますが、用紙で配布される方がわかりやすく感じる。

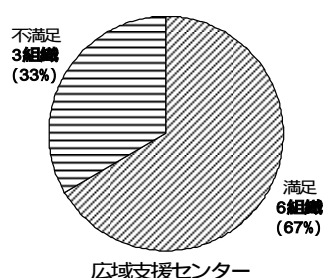
リハネット加盟団体が指摘する不満足な理由

- ・ 恐れ入りますが、この機会に確認しましたところ、講師バンク設定初期の頃と画面イメージが変わりましたでしょうか？以前はもっと簡単にアクセスできたような記憶があります。「群馬県地域リハ支援センター」「群馬県地域リハ協議会」「群馬リハネット」この三つの団体が(類似した名称団体)紛らわしく、まずどこへアクセスしたらよいのか迷うので、各サイト内に具体的な案内(総合的な「講師バンク」という名称を載せていただく)をお願いできれば幸いです。会員専用サイトだと思いますが、見出し的(具体的な案内)に載せていただくと辿り着きやすいと思います。
- ・ 当協会のID；パスワード；の取得、登録方法について知らないのでは目的を果たせませんでした。
- ・ 見づらい。横へ移動するより縦移動で見られたほうが、見やすいのでは？
- ・ 同じ方が複数出てくるが、もう少しまとめた方が。わかりやすいのでは？
- ・ 全然足りない。偏りすぎ。だから増やそうとしているので、続けて頑張って下さい。
- ・ 但し、利用者頻度が少ない場合、ID、パスワード、要領などが引き継がれてこない傾向があります。

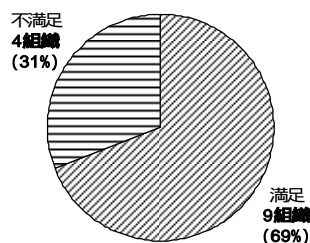
5.10 登録講師内容の満足度

登録講師の内容はおおむね満足だが、不満足の見解もあり

登録講師の満足度や具体的な問題点について調査しました。



広域支援センター



リハネット加盟団体

不満足な理由（広域支援センター）

- ・登録講師数が少ない。自己申告でなく小分類に適応となる人材を発掘し、依頼してはどうか？
- ・講師数の充実。
- ・内容をもう少し具体的に示して欲しい。できれば講演可能な曜日や時間帯などわかれば頼みやすい。

不満足な理由（リハネット加盟団体）

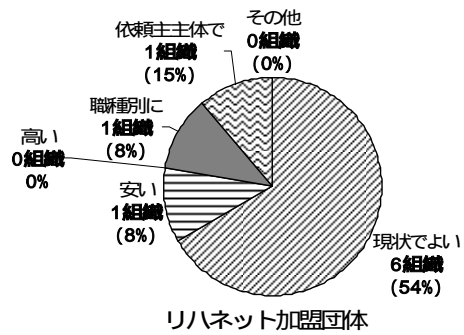
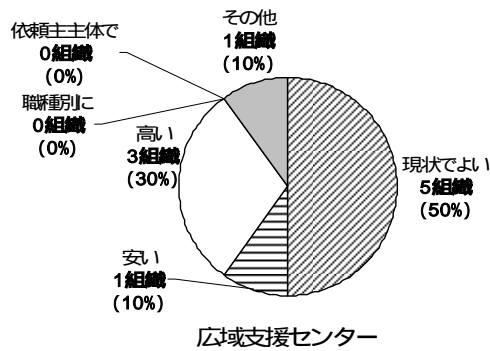
- ・講師が少ない。実績も載せたらどうか？
- ・講師職種の中に服飾系や住環境も含んで下さるとうれしい。
- ・全然足りない。偏りすぎ。だから増やそうとしているので続けて頑張ってください。
- ・利用していないため不明。

*講師数が足りないとの意見などが多く、いくつかの組織に電話確認をいたしました。アンケート回答に当たっては、群馬県支援センターのホームページで具体的な講師をみてもらい答えていただかなければならないところ、アンケートに同封した A4 1 枚の見本だけをみて回答した組織がいくつかあったようです。

5.11 講師への謝礼について

講師への謝礼はおおむね現状が適切と考えるが、様々な意見もあり

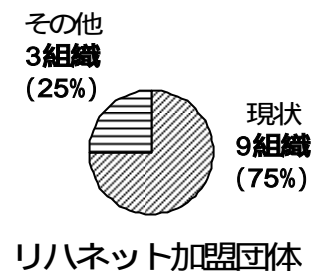
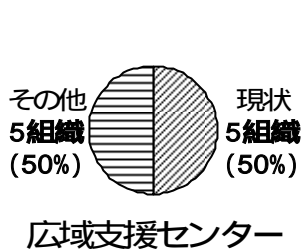
現在、登録講師への謝礼は職種に関係なく（ただし、行政関係者は原則無償）「一律1万円」+「交通費5千円（同一圏内）あるいは1万円（圏外）」となっています。謝礼金を支払う金額が負担であるとか、安すぎて声をかけにくいとの現場の声を聞いていましたので、講師への謝礼について調査しました。おおむね現状でよいとの意見が多くみられましたが、広域支援センターでは高い、リハネット加盟団体では一律でなくてもよいのでは、との意見もみられました。



5.12 講師利用可能な組織の範囲について

講師利用の適応範囲はおおむね現状が適切と考えるが、拡大希望の意見もあり

現在、講師バンクの利用できる団体は「群馬県地域リハ支援センター」「地域リハ広域支援センター」「講師推薦をしたリハネット加盟団体」となっています。利用させて欲しいとの他団体の要望もあったため、利用範囲について調査しました。おおむね現状でよいとの意見でしたが、アンケートの具体的意見内に利用範囲拡大を支持するものがみられました。



広域支援センターが指摘する問題点

- ・ 必要があれば、いろいろな団体（群馬県に限る）からの要望に答えられた方がよいと思う。
- ・ もっと広く開放した方がよいと思う。
- ・ 拡大してもよいと思う。範囲は余り制限しない方がよいかと思います。
- ・ 登録されている講師の負担にならなければ、拡大をして頂きたい。当センターで研修会を行う際に、以前講演して下さった「講師・講義内容」を指定されれば、こちらも研修会を開催しやすくなります。
- ・ 講師バンクを活性化させるのであれば、リハネット加盟団体であれば、講師推薦をしていない団体でも利用可能としてもよいのではないのでしょうか？

リハネット加盟団体が指摘する問題点

- ・ もう少し拡大できませんか？利用団体（希望する）を登録時に調査内容明確であればよいという風に、門戸を拡げて頂ければと思う。
- ・ 特に意見はありません。
- ・ 地域の老人クラブへの働きかけはどうでしょう？

5.13 その他、意見・希望

《広域支援センターの意見・希望》

- ・ 年間10数回の講演会、研究会を開催しているが、講師等をなるべく地域の人材で行えるよう企画している。年数回は外部からの講師をお願いしている。基本的には地域の資源を生かし育て、連携を計ることが活動の主体と考えています。従って、講師バンクの利用頻度としては少なくなると思います。しかし、身近なところで、一流の方のお話を伺える機会は大変貴重ですので、今後益々の内容の充実をお願い申し上げます。
- ・ 利用可能な団体に、利用方法、講師一覧などのパンフレット作成し送付する。
- ・ もう少しPRしてもよいかと思えます。当院ではPTやOTが各士会から推薦されているようなので、認知度も高い方ですが、HP関係者の中には知らない人も多いです。
- ・ 以前は利用したくても対象の職種の方がおらず、頼むことができなかったのですが、今回改めてホームページで登録を確認したところ、沢山の先生方の登録があり、今後利用させて頂きたいと思えます。
- ・ 研修会を計画するにも講師の先生が見つからず苦労しておりましたが、今後は講師バンクを活用させて頂き間と思えます。なかなかホームページを開く機会がないので、新規に登録があった時などにお知らせをいただくと、ホームページを見る機会が増えるかもしれません。
- ・ 講師バンクの利用は広支センターで講師の確保ができない場合の最終手段と考えられているところが多いのではないかと思います。講師バンク利用実績や利用のしやすさを示していく必要があると思えます。なぜか気軽に利用できない雰囲気があります。

《リハネット加盟団体の意見・希望》

- ・ 講師バンクが有効に利用できるような広報をお願いしたい。講師に既に予定が入ったり、都合の付けられない日程もあるかと思えますので、利用する側にそれが予め分かれば、より利用しやすいかと思えます。
- ・ 講師バンクのPRをもっとしていかないと、各団体にも浸透しないし、利用が増えず、活性化しないのでは？
- ・ 大変素晴らしい制度だと思えます。現在のところ利用実績はありませんが、今後は県内のリハビリを必要とされている方々の為にも当会の会員の資質向上を計る為に講師バンク制度を利用させて頂きたいと思えます。今後ご指導をよろしくお願いいいたします。
- ・ 当団体としては利用は少ないと思えます。講師バンク制度の案内が紙情報でなくネット情報として入手できると少し使いやすくなるのではないかと思います。講師バンクの情報がIDカードなしでも検索できるとさらに便利ですが難しいでしょうか？
- ・ 歯科衛生士会としては、まず利用される立場となるよう、登録者を増やし、県内各地域の要望に対応したいと考えています。逆に、講師バンクを利用させて頂くことを考えると、研修会の日時、場所等なかなか予定が合わない場合が多いので、講師数の増員、地域等の配慮も必要ではないでしょうか？
- ・ 本会は障害児者が直接指導訓練が受けられる機会が得られればと思えます。

アンケート用紙

群馬県地域リハビリテーション講師バンクに関する調査

平成 19 年 11 月 13 日

〒371-8514 群馬県前橋市昭和町 3-39-15

群馬大学医学部保健学科 KA6-24

群馬県地域リハ支援センター 調査研究部会

代表；田中聡一（satanaka@ed.tokyo-fukushi.ac.jp）

事務担当；角田祐子（tsunoday@health.gunma-u.ac.jp）

Tel/Fax 027-220-8966

アンケート調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また常日頃、群馬県地域リハビリテーション支援事業に御理解、御協力をいただき感謝申し上げます。

このたび、講演会等の派遣講師の登録及び斡旋システム、「群馬県地域リハビリテーション講師バンク」(平成 17 年度発足)をよりよいものにするために、「群馬県地域リハビリテーション講師バンクに関する調査」を実施いたしますので、御協力をいただきますようお願い申し上げます。調査をお願いする方々は全ての群馬リハネット加盟団体の主担当者、地域リハ広域支援センターコーディネーターで、悉皆調査といたしました。お答えいただきました内容は、個人に関する情報が特定され公表されることが決まってお約束いたします。

なお、回答をいただきました調査票は 12 月 10 日までに、同封の封筒にてご返送いただきますようお願いいたします。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の主旨を御理解の上、御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本調査結果は、群馬地域リハ研究会や紙面等で全県報告させていただきます。

ご不明な点などございましたら、お問い合わせいただければと思います。

敬具

群馬県地域リハビリテーション講師バンクに関する調査

* 本調査の回答は、講師バンクの利用で、その決定や運営に直接関わっている主担当の方がお答え下さい。

問1. 貴団体の名称をお書き下さい。(回答日もお書き下さい)

_____ (____月 ____日回答)

問2. あなたの組織内での役職とあなたの職種をお書き下さい。また、講師バンク利用等で組織内において任命されている役職(例; 広域支援センターコーディネーター、講演会企画担当・・・)がございましたらお書き下さい。(*印項目は必須)

* 組織内役職 _____

* 職種 _____

講師バンク利用に関連する組織内役職 _____

問3. 貴団体では講師バンクに講師の登録をしていますか。登録している講師数をお書き下さい。

現在まで(_____)人登録(登録していない場合は0人と回答して下さい)

問4. 貴団体では現在まで講師バンクを利用したことがありますか。実際、利用した回数をお書き下さい(利用のない場合は0回と回答して下さい)。

現在まで(_____)回利用

問5. 講師バンク制度をご存じでしたか。

1. 知っており、講師バンクの利用の仕方がわかる
2. 知ってはいるが、講師バンクの利用の仕方はわからない
3. 名前を知っているくらいで、内容はわからない
4. 全く知らなかった
5. その他(_____)

以下の問 6、7 のいずれか該当する方を回答して下さい。

《問5の回答が1の方のみ回答して下さい》

問6． 現行の講師バンクの利用についてお答え下さい。

- 1． 講師バンク利用については現システムで満足できる。
- 2． 満足できない場合、問題点・改善点等をお書き下さい。

《問5の回答が2～5の方のみ回答して下さい》

問7． 講師バンク制度を熟知できなかった、考えられる理由をお書き下さい。

問8． 講師バンク 運営要領をご存じでしたか。

- 1． 知っており、運営要領を所持して内容理解している
- 2． 運営要領を所持しているが、よく読んでおらず、内容理解は不十分
- 3． 運営要領があることは知っているが、読んだことはない
- 4． 運営要領を知らない
- 5． その他(_____)

問9． 講師バンク 運営要領についてお答え下さい。

《講師バンク運営要領をご存じでない方は同封のものを御覧になり回答して下さい》

- 1． 講師バンク運営要領については現行のもので満足できる。
- 2． 満足できない場合、問題点・改善点等をお書き下さい。

問10． 講師バンクの登録講師の 調べ方をご存じでしたか。

- 1． 知っており、登録講師を調べられ、実際調べたことがある
- 2． 知っており、登録講師を調べられるが、実際調べたことはない
- 3． 調べ方の手順を知っているのみで、実際は調べることができない
- 4． 調べ方を知らない
- 5． その他(_____)

問11. 登録講師の調べ方に関する問題点・改善点をお書き下さい。

《登録講師の調べ方をご存じでない方は同封の資料(調べ方)を御覧になり、実際に登録講師を調べた上で御回答下さい》

1. 登録講師の調べ方については現行のもので満足できる。
2. 満足できない場合、問題点・改善点等をお書き下さい。

問12. 登録講師の内容についてお答え下さい。

1. 登録講師については現行のもので満足できる。
2. 満足できない場合、問題点・改善点等をお書き下さい。
(含む; 具体的な講師数、講師職種、登録分野・内容)

問13. 現在、登録講師への謝礼は職種に関係なく(ただし、行政関係者は原則無償)「一律1万円」+「交通費5千円(同一圏内)あるいは1万円(圏外)」となっています。謝礼についてお答え下さい。(選択肢1~5と選択肢6を同時に選んでもよい)

1. 謝礼額は現状でよい
2. 安すぎる
3. 高すぎる
4. 職種で分けるべきである
5. 依頼主に決めさせてほしい
6. その他問題点・改善点・お考え

問14. 現在、講師バンク利用のできる団体は「群馬県地域リハ支援センター」「地域リハ広域支援センター」「講師推薦をしたりハネット加盟団体」となっています。今後講師バンクを利用できる団体の範囲について御回答下さい。

1. 講師バンク利用可能団体範囲は現状でよい
2. その他問題点・改善点(含む; 拡大・縮小ならその範囲)

問15. その他、今後群馬県内でこの講師バンクが有用に利用されるためのあなたのお考え・ご希望をお聞かせ下さい。

ご多忙の中、アンケートへのご回答ありがとうございました。

群馬県地域リハビリテーション支援センター調査研究部会名簿

名前	
田中聡一	群馬県地域リハ支援センター（調査研究部会長） 東京福祉大学・大学院（社会福祉学部教授）
山口晴保	群馬県地域リハ支援センター 群馬大学（医学部保健学科理学療法学教授）
川名高夫	（社）群馬県鍼灸師会 川名治療院（院長）
小池昭雅	群馬県介護福祉士会（理事） 社会福祉法人橘風会特別養護老人ホームねむの丘
田所弥亜子	群馬県作業療法士会 訪問看護ステーションふれあい
中里貴江	群馬県訪問看護ステーション連絡協議会（副会長） 訪問看護ステーションきらくな家
酒井保治郎	群馬県地域リハ支援センター（センター長） 群馬大学（医学部保健学科作業療法学教授）

群馬県地域リハビリテーション講師バンク

制度の普及と意識調査報告書

平成 20 年 1 月

群馬リハビリテーションネットワーク事務局

371-8514 前橋市昭和町 3-39-15

群馬大学医学部保健学科 地域リハ PJ 内

Tel & Fax: 027-220-8966

